

# ひまわり通信

2019年 9月 第3号

残暑厳しい日が続いていますが、夏を元気に過ごした子ども達は、日に焼けてたくましく感じられます。夏の名残で蒸し暑い日と、秋の兆しを運ぶ、しのぎやすい日が交互に訪れるこの時期は、体調を崩しやすい為、十分に注意していきたいですね。



## たのしかったね！

なかなか気温が上がらず、プール遊びを始められずにいましたが、毎朝「今日プール？」と楽しみにしていた子ども達。「今日はプール！」「今日は泥んこ遊び！」と伝えると大盛り上がりでした。いつもは時間のかかるお着替えもプールとなれば早いなのなんの！！やればできるんだよねー！とからかってみると、バシバシという表情を見せる子も。泥んこ遊びもプール遊びも全力で楽しんでいました。泥んこ遊びで汚れるのが苦手な子は、水のかからないところで砂遊びを楽しみました。しかし、川を作ったり、泥の中に足を埋めたりと楽しんでいるお友達の様子が気になる…。お団子を作って渡したり、コーヒーを作って渡したりしているうちに、泥んこも平気になっていったようでした。プール遊びでは昨年よりも水を怖がる子が減り、思い切り遊ぶ姿が見られました。穏やかに遊ぶグループも、お友だちと互いにパシパシと水を掛け合って遊んでいました。私たちもビッシヨリになりながら楽しい時間を過ごしました！

夏らしい遊びをと思い、流しそうめんごっこを行いました。流れてくる毛糸をお箸でつかむ。これがとっても難しい！女の子は真剣そのもの！誰も声を発さず、流れてくる毛糸に集中。「あれ？楽しくない？」とこちらが心配になってしまうほどでした。男の子は最初から「とれないー！」「いっちゃったー！」「とれたー！」と大はしゃぎ。男女でこんなに違いがあるのかと驚きました。2回目からは女の子からも歓声が聞こえ、一安心でした！つかむだけではなく、自分がかんだものを流して遊ぶ姿も見られ、それぞれの楽しみ方で楽しんでくれたようでした。「流しそうめん楽しかった♪」「またやろうね！」と話してくれ、私たちもとても嬉しくなった流しそうめんごっこになりました！



## できることお手伝い★



「できること おてつだい」という絵本があります。動物たちがそれぞれ自分にできることを見つけ、運動会の準備をしていくお話です。色々な場面で「できることお手伝い」という言葉を用い、子ども達にお手伝いをしてもらっています。進級して半年。ステップアップをしようということで、今まで用意してもらっていたうがいのお茶や、水分補給の麦茶を自分でジャグからコップに注ぐことに挑戦！コップに注ぐだけでなく、コップを持っての移動もあるので、たくさん入れたらこぼれてしまいます。そこで、「1・2・3・パッ（で手を離す）！」とカウントをとることを教えました。保育士がやってみせ、次は子ども達の番。自分でできることが嬉しくてニヤニヤしながら並び、真剣に「1・2・3・パッ！」と声に出して行っていました。

給食の先生からもお手伝いを頼まれました！トウモロコシの皮むきです。まだまだ力の弱いひまわり組ですが、お友だちと協力して皮を剥き、ヒゲを取っていました。おやつの特製トウモロコシを見て「むきむきしたやつ？」ととても嬉しそうに美味しいように食べていましたよ！

できることお手伝いが増えてきました。また少し、お兄さん・お姉さんになってきましたね。

